

平成28年度 前期選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号 21

千葉県立八千代高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

知・徳・体を鍛える学習に取り組むと同時に、特別活動（部活動・生徒会活動・地域貢献活動）にも意欲的に取り組み、社会のリーダーとなる意欲にあふれる者

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の成績を資料とする。
(2) 調査書	評価項目の各評価を資料とする。
(3) 面接	集団面接における各評価項目の評価を資料とする。

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点の合計により評価する。

(2) 調査書

次のア及びエ、オ、カの評価項目を値で評価する。なお、エ、オ、カの評価項目の評価の合計は40点を上限とする。また、イ、ウ、キの評価項目は参考とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	全学年における全教科の評定の合計値を算式1で求めた値の5割の値を評価する。
イ 出欠の記録	3カ年皆勤の場合は参考にする。
ウ 行動の記録	が全くない場合は審議の対象とする。
エ 特別活動の記録	特別活動で、生徒会活動、学校行事の記録について評価する。 (生徒会役員等)
オ 部活動の記録	部活動の記録で、下記の項目について評価する。 (部活動の部長、県大会～全国大会等)
カ 特記事項	各種検定試験、部活動以外のクラブチーム等での活動を評価する。
キ 総合所見	記載内容を参考にする。

(3) 面接

評価項目	評価基準
ア 高校生活に対する意欲	面接の態度や発言からものの考え方や本校普通科での高校生活を意欲的に送れるかどうかを判定する。面接委員2名で5人の受検者に約10分間の集団面接を実施。委員が面接内容を総合的に判定し、A、Bの2段階で評価する。
イ 態度	
ウ ものの考え方	

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

本校普通科の「期待する生徒像」に基づき、「学力検査の成績」、「調査書」、「面接」等を総合的に判定して入学者の選抜を行う。
「学力検査の5教科の得点の合計値」に「調査書から得られる値」を加え、面接結果等を参考にして、値の合計値の高い者から審議し、募集定員の60%の範囲内にある者を入学許可候補者として内定する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加える。提出されたことにより、不利益な取扱をすることがないように十分に留意する。

5 その他

過年度生については、個人面談を行う場合がある。

平成28年度 前期選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号 21

千葉県立八千代高等学校 全日制の課程 家政科

1 期待する生徒像

被服製作や調理実習などの専門的な学習に取り組み、質の高い技術を習得しようとすると同時に、学校家庭クラブ活動をはじめ地域への貢献活動に意欲的に取り組む者

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の得点の合計を資料とする。
(2) 調査書	評価項目の各評価を資料とする。
(3) 面接	集団面接における各評価項目の評価を資料とする。
(4) 適性検査	適性検査における各評価項目の評価を資料とする。

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点の合計により評価する。

(2) 調査書

下記のアの数値を得点とし、他は参考にする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	全学年における全教科の評定の合計値を算式1で求めた値に、技術・家庭の評定値を加えて評価する。
イ 出欠の記録	3カ年皆勤の場合は参考にする。
ウ 行動の記録	が全くない場合は審議の対象にする。
エ 特別活動の記録	特別活動で、生徒会活動等を参考にする。
オ 部活動の記録	活動内容を参考にする。
カ 特記事項	各種検定試験、部活動以外のクラブチーム等での活動を参考にする。
キ 総合所見	記載内容を参考にする。

(3) 面接

評価項目	評価基準
ア 高校生活に対する意欲	面接の態度や発言からものの考え方や本校家政科での高校生活を意欲的に送れるかどうかを判定する。面接委員2名で5人の受検者に約10分間の集団面接を実施。委員が面接内容を総合的に判定し、A、Bの2段階で評価する。
イ 態度	
ウ ものの考え方	

(4) 適性検査

評価項目	評価基準
ア 家庭科科目への適性	家庭科に関する簡単な作業をおこない、本校家政科の授業に対応できるかどうかを判定する。はさみを使って約5分間の検査をおこなう。委員がその作業手順、作業結果を判定し、A、Bの2段階で評価する。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

本校家政科の「期待する生徒像」に基づき、「学力検査の成績」、「調査書」、「面接」、「適性検査」等を総合的に判定して入学者の選抜を行う。

「学力検査の各教科の得点の合計値」に「調査書から得られる値」を加え、面接及び適性検査の結果等を参考にして、値の合計値の高い者から審議し、募集定員の100%の範囲内にある者を入学許可候補者として内定する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加える。提出されたことにより、不利益な取扱をすることがないように十分に留意する。

5 その他

過年度生については、個人面談を行う場合がある。

平成28年度 前期選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号 21

千葉県立八千代高等学校 全日制の課程 体育科

1 期待する生徒像

基礎運動能力及び特技とする運動能力に優れ、本校の『運動実技及び運動に関する知識・理論を修得し、体育スポーツの振興発展に寄与する人間の育成』という理念の実現への意欲にあふれる者

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の得点の合計を資料とする。
(2) 調査書	評価項目の各評価を資料とする。
(3) 面接	集団面接における各評価項目の評価を資料とする。
(4) 適性検査	基礎運動能力と専門種目に関する運動能力検査を行い、それぞれの項目を資料とする。
(5) 志願理由書	記載内容を資料とする。

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
各教科の得点合計	5教科の得点の合計により評価する。

(2) 調査書

下記のアの数値を得点とし、他は参考にする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	全学年における全教科の評定の合計値を算式1で求めた値で評価する。
イ 出欠の記録	3カ年皆勤の場合は参考にする。
ウ 行動の記録	が全くない場合は審議の対象にする。
エ 特別活動の記録	特別活動で、生徒会活動等を参考にする。
オ 部活動の記録	活動内容を参考にする。
カ 特記事項	各種検定試験、部活動以外のクラブチーム等での活動を参考にする。
キ 総合所見	記載内容を参考にする。

(3) 面接

評価項目	評価基準
ア 高校生活に対する意欲	面接の態度や発言からものの考え方や本校体育科での高校生活を意欲的に送れるかどうかを判定する。面接委員3名で4～5名の受検者に約10分間の集団面接を実施。面接委員が面接内容を総合的に判定し、A、Bの2段階で評価する。
イ 態度	
ウ ものの考え方	

(4) 適性検査

評価項目	評価基準
ア 基礎運動能力検査	基礎運動能力(新体力テスト的な内容及び球技,器械体操種目等)と専門種目に関する運動能力検査を行う。アの運動能力をA, B, Cの3段階で評価し,イの運動能力をA, Bの2段階で評価する。
イ 専門種目運動能力検査	

(5) 志願理由書

評価項目	評価基準
ア 志願の理由	本校入学の意志について確認する。
イ 自己アピール	特に優れた内容について参考とする。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

本校体育科の「期待する生徒像」に基づき、「学力検査の成績」、「調査書」、「面接」、「適性検査」、「志願理由書」等を総合的に判定して入学者の選抜を行う。

第2日の適性検査及び面接においてA評価の者について、「調査書の点数」及び「学力検査の成績」の合計により順位を付け、続いてB評価, C評価の者についても同様に順位を付け,その他の資料も踏まえて,特に問題のない者から募集定員の100%の範囲内にある者を入学許可候補者内定者とする。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には,選抜のための資料に加える。提出されたことにより,不利益な取扱をすることがないように十分に留意する。

5 その他

専門種目運動能力検査の内容については,出願時に口頭で申告する。
過年度生については,個人面談を行う場合がある。